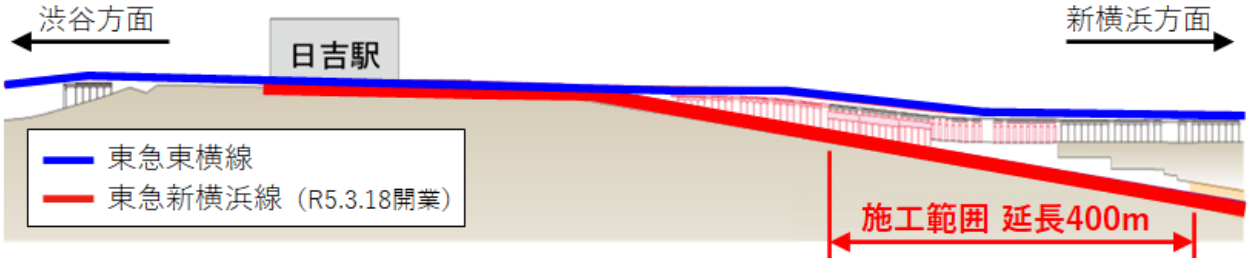
【（公社）土木学会　技術賞（Ⅰグループ）】
3.「鉄道営業線高架橋の縦断的なアンダーピニングを伴う新線の建設
～相鉄・東急直通線日吉駅付近工事～」

「鉄道営業線高架橋の縦断的なアンダーピニングを伴う新線の建設－相鉄・東急直通線日吉駅付近工事－」（東急電鉄（株）施工区間）が、（公社）土木学会の技術賞（Ⅰグループ）[※1]を受賞しました。

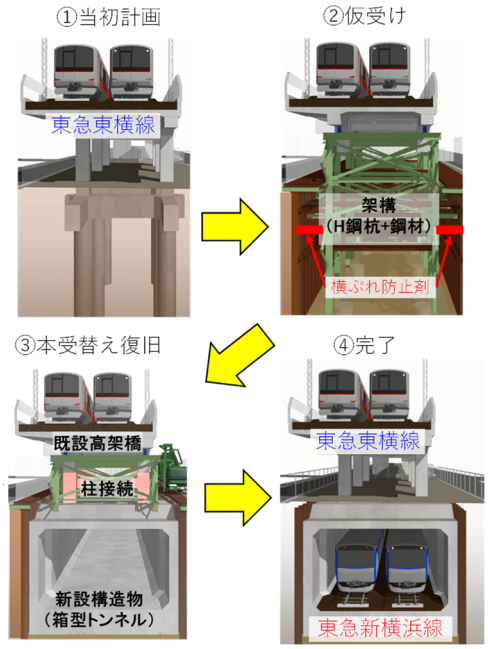
本工事は、用地上の制約から、鉄道用地内で既設高架橋直下に新設構造物を構築する、難易度が高い工事を延長 400mに亘って、東急東横線が運行するRCラーメン高架橋に対し縦断的にアンダーピニングを実施し対応したものです。新設構造物が長大かつ急勾配をもつため、３種の異なる構造を採用するとともに、計測監理システムの構築や横ぶれ防止材の適用により、営業線高架橋のアンダーピニングを安全・確実に実施しました。

都心部の用地取得が困難な施工環境下で、周辺用地の改変を行わずに、安全・品質管理の高度技術の導入により、大規模アンダーピニングの施工を実現したことは、今後の都市部の厳しい施工条件下での土木工事発展に大きく寄与することと認められ、受賞に至りました。

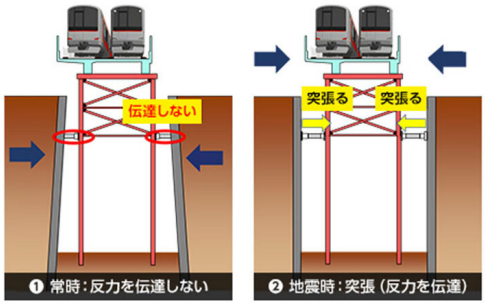
相鉄・東急直通線　日吉駅付近



アンダーピニング工法施工手順



計測管理システム



横ぶれ防止材の適用

※図面提供：東急電鉄（株）

※1　土木技術の発展に顕著な貢献をなし、社会の発展に寄与したと認められるインフラの計画、設計、施工、または運用やメンテナンス等の画期的な個別技術に贈られる賞。

（参考）令和４年度土木学会技術賞　紹介ページ
（https://www.jsce.or.jp/prize/prize_list/2_gijutu.shtml#s2022）